

# 市職員募集

問職員課  
☎70・5607



## 区分・レベルなど

◆行政（大学卒程度）  
受験資格：昭和56年4月2日～平成2年4月1日生まれ。採用予定時期：来年4月以降（最終学校を既に卒業した人は今年10月以降の採用もあり）。

◆土木（大学卒程度）  
受験資格：昭和53年4月2日以降に生まれ、学校教育法に規定する大学の土木に関する学部・学科を卒業したか、来年3月卒業見込みか同等の知識を有する。採用予定時期：来年4月以降。

校を来年3月に卒業・免許取得見込み③視力（矯正視力を含む）が両眼で0.8以上、一眼で各0.5以上、弁色力正常④聴力正常。採用予定時期：来年4月以降。

◆行政（大学卒程度・身体障害者対象）  
受験資格：①④を全て満たすこと。①昭和56年4月2日～平成2年4月1日生まれ

②身体障害者手帳を交付されている③自力で通勤・職務遂行可能④活字印刷文による出題に対応可能。採用予定時期：来年4月以降（最終学校を既に卒業した人は今年10月以降の採用もあり）。

◆育児休業代替任期付職員  
保育士・保健師  
受験資格：各資格（年齢要件なし、定年60歳）。採用予定時期：職員の育児休業の取得状況に応じて。

## 試験日程など

▼第1次試験日 7月24日（日）（育児休業代替任期付職員は7月19日（火））▼会場  
市役所会議室など▼採用予定人数 各区分若干名▼圍▽期間 6月8日～30日（必着）▼方法 市ホームページから電子申請か、職員課へ簡易書留か直接▼受験案内・申込書配布▽同課（土・日曜日は市民課）、消防総務課、スポーツセンター、中央公民館、各地区センター、寺尾いずみ会館、南部ふれあい会館、図書館（市ホームページからダウンロード可）▼その他 詳細は受験案内参照

## いきいき健康

### 不育症を知っていますか？

不育症とは、妊娠しても流産・死産・新生児死亡などを繰り返して、赤ちゃんを持ってない状態を言います。まだ認知度が低く、自分が不育症と気付いていない方や、どこでどのような検査・治療をすれば良いのか分からない方もいるのではないのでしょうか。

普通の妊娠でも流産は15～20%の確率で起こります。繰り返す確率は、自然流産を20%とした場合、2回では4%、3回では0.8%となり、非常にまれだと言えます。妊娠初期でも流産を3回以上繰り返す場合は、何らかの原因を疑う必要があります。

不育症の原因は、①子宮異常（奇形、子宮筋腫、頸管無力症、子宮腔癒着症など）②内分泌異常（高プロラクチン血症、甲状腺機能異常、糖尿病など）③免疫異常（抗リン脂質抗体症候群、自己免疫疾患、同種免疫異常）④夫婦染色体異常など多岐に渡っています。原因によっては、治療で妊娠・出産が可能になる場合もあります。夫婦だけで悩まずに、専門医に相談し、検査で原因を知ることが大切です。

図保健医療センター☎77・1133。

## きらめき市民活動

### まちかど特派員レポート



見る人を引き寄せる力作

東日本大震災の悲しい思いを、人それぞれに今も引きずっている日々の中、力作が並ぶ市美術協会の会場は、ほつとする空間でした。入り口には大震災義援金の募金箱が置かれ、協会としての姿勢がうかがえました。

四季折々の風景や、醸し出される空気感、色彩豊かな世界、構図、配色、表現など、個性あふれる作品ばかりでした。どのようなテーマで描かれているのか、作者が訴えたいことはなど、一点一点鑑賞した後、活動内容を取材しました。

絵画研究会、デッサン会、近郊でのスケッチ会、バスでのスケッチ旅行など研さんを重ね、昨年創立25周年を迎えました。会員79人がそれぞれ絵を描く喜びに浸り、展示会に向かってみんなで成長し、参加する「互恵互助」を合言葉に取り組んでいるとのことでした。

春の美協展をはじめ、デッサン会作品展、市役所での展示、秋の市展、県央最大規模という海老名市美術協会との合同展など、発表する機会が多く、市民の皆さんも身近に鑑賞することができます。

より多くの市民の皆さんが絵画に親しめるよう、今後地域社会の美術・文化の向上に寄与されることを望みます。

【高橋 元・広報まちかど特派員】



身近に鑑賞できます

## 弥生時代

### —弥生時代①—

#### 水田と鉄は社会に何をもたらしたか

今回からタイムスリップは弥生時代編となります。主に狩猟や植物採集により生計を立てていた時代が、前回までの縄文時代でした。これに対して、狩猟採集を行いつつ、弥生時代です。道具の素材が石から鉄に替わったのもこの時代でした。水田と鉄は弥生時代のキーワードです。

水田といえば、金色に輝く稲穂を連想しませんが、獲物を追う暮らしの縄文時代はその日の食事にも困っていた。水田により豊かな食生活が約束され、平和な時代がやってきた。

このような時代像が描かれていたこともあり、しかし、現代の狩猟採集民が予想以上に余裕のある生活を送っていることが分かってきました。水田が食生活にどの程度影響を与えたのかは再考を余儀なくされたのです。ただし、米づくりという従来なかつた共同作業が社会に影響を与えたのは事実です。

鉄については生活が便利になったという側面より、その争奪という視点から弥生時代を見るようになっていきます。当時、鉄は国内で生産できず、すべて輸入に頼る稀少品でした。この鉄をめぐる日本

列島中で争奪戦が起きたと考えられています。村の周りに深い溝を巡らす環濠集落が全国で多数現れたのも、弥生時代だけです。この環濠も鉄をめぐる争いに呼応して掘られたと思われまます。

このように弥生時代は平和よりも戦乱の時代ととらえられています。

弥生時代は元来、前・中・後期の3期に分けられています。今では前期と後期をそれぞれ二分し、早期・前期・中期・後期・終末期とする考え方もあります。

市内で弥生時代の遺跡が確認されるのは中期後半からです。後期前半になると、環濠集落である神崎遺跡が出現します。

神崎遺跡は今年2月、国の史跡に指定されました。今後は、遺跡の活用方法を考えていかなければなりません。神崎遺跡の時代である弥生時代は、市にとっても特別な意味を持つていくのです。

7. 圖生涯学習課☎70・563



3月に実施した神崎遺跡見学会